

特別支援教育だより

今市第二小

就学時健診用

R2.10.23

お子さんの入学準備の始まりとなる就学時健康診断にお越しいただきありがとうございます。入学に向けて、期待と不安が湧きあがっていらっしゃるのではないかとお察しいたします。

さて、この便りの名称となっている「特別支援教育」について簡単に説明いたします。

平成24年度の文部科学省による全国調査で、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、通常の学級に6%程度の割合で在籍している可能性がある」という結果が出ました。集団での生活や学習に困難を感じている子供が6%程度いるということです。この子供たちの持つ力を高め、困難を改善していくために適切な指導や必要な支援を行っていきましょうというのが、特別支援教育です。

特別支援教育は、全国全ての学校・学級で行っているものです。

◇このようなことが気になっていませんか？



- 朝の支度に時間がかかる。
- 室内で静かに遊べない。
- 食べ物の好き嫌いが激しい。
- 不器用で、折り紙などが苦手。
- 好きなことしかやらない。
- 友達とすぐけんかになる。
- 指示が聞きとれず（理解できず）、行動に移せない。
- など



幼児期でこのような様子が見られても、他のお子さんとの差は小さいからまだ大丈夫と思われるかもしれませんが、しかし、小学校に入学し、学年が進むにつれて、この差は大きくなり皆に追いつくことが難しくなることもあります。その結果、お子さんが、やる気をなくしたり、イライラして感情的になったり、学校へ行きたがらなくなったりすることもあります。周囲の大人がお子さんの「困り感」に早めに気づき、早めに対応することが、お子さんの自信を育てるためにも大切なことです。

今二小では、必要に応じてスマイル教室（個別指導教室）やチャレンジ学級（特別支援学級）での学習や生活指導を行っています。大人数の中での生活や学習に困難を示すお子さんも、少人数の中で「やる気」や「集中力」を見せて取り組むことができます。

「みんなと違う場所で勉強するなんて・・・」と御心配なさるかもしれませんが、しかし、対応が遅れて、お子さんが自信を無くしたり無気力な状態になったりすると、そこからの改善には長い年月とエネルギーが必要になります。

思い当たることがあるという方は、いつでも相談にいらしてください。入学後も相談をお受けしていますが、入学前により手立てが見つければ、入学と同時に必要な支援をスタートすることができます。

また、特別支援教育についての御質問なども、お気軽にお声かけください。

21-0866（担当 松本）